

大仙市除排雪業務委託に係る公募型プロポーザル実施要領

1. 目 的

この要領は、冬期間の安全安心を守るために、除排雪共同企業体（以下「JV」という。）による地域に密着した持続性のある除排雪体制を確保することを目的として、公募型プロポーザル方式（以下「プロポーザル」という。）により業務の受注者を選定するために必要な事項を定めるものである。

2. 業務の概要

（1）業務名および業務箇所

別表参照（8地域10工区の業務）

（2）業務内容

本プロポーザルはJVが参加することができ、1JVにつき、除排雪等業務を受注しようとする地域を別表から1地域選択する（大曲地域においては、工区まで選択する。）。

（3）履行期間

予定履行期間は令和6年11月1日から令和7年3月31日までとする。

（4）業務経費の提案上限額

別表のとおりとする。ただし、公告日時点においては、秋田県建設部の定める実施単価表（令和6年7月以降適用）に基づき提案上限額を算定しているが、契約候補者が特定された際には、特定日時点の最新の実施単価に基づき単価更正を行い、提案上限額を再算定した上で、見積書の提出を要請する。

3. 担当部局

〒014-0063

秋田県大仙市大曲日の出町二丁目8番4号

大仙市 建設部 道路河川課

電 話：0187-66-4905

FAX：0187-63-1930

E-mail：douro@city.daisen.lg.jp

4. 参加資格要件

本プロポーザルに参加できる者は、次の全ての要件を満たす者とする。

（1）JVに関する要件

- 1）本業務は、JVによる共同履行であること。
- 2）JVは自主結成であること。
- 3）JVの構成員数は2者以上とし、業務の内容を勘案し円滑な除排雪が確保できる数であれば上限数を設けない。
- 4）JVの代表者にあつては、大仙市建設業者等等級格付名簿（以下「格付名簿」という。）の一般土木工事A等級又はB等級に登載されており、かつ、大仙市発注の道路法上の道路における除排雪業務の履行実績があること。
- 5）JVは構成員が工区を持つ分担施工方式（乙型）によるものとし、自らの担当工区業務を一括下請負に付すことはできない。

6) 1地域内（大曲地域においては、1工区内）に次のいずれかの資格を保有し、かつ、管理技術者として大仙市発注の道路法上の道路における除排雪業務の従事実績がある者を1名以上配置できること（配置できる管理技術者の名簿は、（様式1-4「予定管理技術者の資格および実績」）による。）。

① 1級・2級土木施工管理技士

② 1級・2級建設機械施工管理技士

7) 設計書に示す機械の運転に必要な免許等を有するオペレーターの人数を、設計機械台数以上に確保できること。

8) 必要な要件を満たす者にあつては、複数地域への参加を表明することができるが、管理技術者、オペレーターおよび持込機械について重複申請はできない。

(2) JVの全ての構成員に必要な要件

1) 大仙市契約業者有資格者名簿のうち、大仙市入札参加有資格者名簿の「役務の提供（除雪）」もしくは、大仙市契約希望業者有資格者名簿（限定的な業務委託等を行う契約希望資格）に登載されていること。

2) 業務期間中において、自らの管理下にある除雪機械を1台以上保有するとともに、そのオペレーターを雇用していること。

3) 法人にあつては、次のいずれかに該当する者であること。

① 市内に主たる営業所又は従たる営業所を有し、過年度に市が発注した道路除排雪業務を受注し業務実績を有すること。

② 市内に主たる営業所又は従たる営業所を有し、道路除排雪業務の主たる部分である除排雪を実施するための除雪機械及び人材を確保していること（新規参入者含む）。

③ 受注しようとする地域内において、過去2年以上道路法上の道路における除排雪業務の実績を有すること。

4) 法人以外の者にあつては、次のいずれかに該当する者であること。

① 受注しようとする地域内に住所を有し、かつ1年以上居住していること。

② 受注しようとする地域内において、過去2年以上道路法上の道路における除排雪業務の実績を有すること。

5) 参加表明書提出期限日時点において、滞納している税等徴収金がないこと。

6) 構成員のうち道路欠損部簡易補修業務（土木一式）を担当する者にあつては、格付名簿または小規模修繕等契約希望者登録名簿の土木一式工事に登載されていること。

7) 本業務に関する技術力（安全性や品質確保）や業務の改善のために行うモニタリング調査に協力できる者であること。なお、協力依頼内容については調査が必要と判断される時点で提示する。

8) その他、市が不適格と認める者でないこと。

5. 参加表明書の提出方法

(1) 参加表明書の提出方法

プロポーザルに参加しようとする者は、次に掲げる書類を1部提出すること。

① 参加表明書（様式1-1）

② 参加者の概要（様式1-2）

③ 代表者の資格および実績（様式1-3）

- ④ 予定管理技術者の資格および実績（様式１－４）
- ⑤ 実施体制（様式１－５）
- ⑥ 課税及び納付状況確認（照会）同意書（様式１－６）
- ⑦ 共同企業体に関する協定書の写し

（２）参加表明についての質問および回答方法

- ① 質問の方法：質疑事項がある場合は、質問書（様式３－１）に質問事項および内容を明記し、電子メールにより提出すること。
- ② 質問の受付先：「３．担当部局」に同じ。
- ③ 質問受付期間：令和６年７月２６日（金）から令和６年８月１５日（木）まで。（土曜日、日曜日および祝日は除く。最終日は午後５時までとする。）
- ④ 回答の方法：令和６年８月１６日（金）までに、質問回答書（様式３－２）を大仙市ホームページ《（<http://www.city.daisen.lg.jp>）または（<https://www.city.daisen.lg.jp/soshiki/kensetsu/dorokasen/>）》に掲載するとともに、同日以降、「３．担当部局」の場所において配付する。

（３）参加表明書の提出

- ① 提出期限：令和６年８月１９日（月）正午まで。
- ② 提出場所：「３．担当部局」に同じ。
- ③ 提出方法：持参または郵送（配達証明付に限る）。

６．技術提案書の提出者の選定

（１）技術提案書の提出者を選定するための基準

技術提案書の提出者を選定するための審査は、別紙「大仙市除排雪業務委託に係る公募型プロポーザル評価基準」によるものとし、上位２者程度を選出するものとする。

ただし、参加者が選定予定者数を大幅に上回らない場合は、全員を技術提案者として選定することがある。

（２）選定結果の通知

（１）の結果、疑義無く要件を満たす者に対しては、技術提案書の提出要請書を送付する。また、選定されなかった者には、理由を付して通知する。（令和６年８月２２日（木）を予定）なお、技術提案書の提出要請書は、電子メールで通知する。

（３）非選定理由の説明について

（２）のうち、選定されなかった者は、大仙市プロポーザル方式等実施要綱の規定に従い非選定理由について説明を求めることができる。

- ① 提出様式：Ａ４縦型自由記載
- ② 提出場所：「３．担当部局」に同じ。
- ③ 提出方法：「５．（３）③」に同じ。

７．技術提案書の提出方法

（１）技術提案書の作成方法

技術提案書は、次に掲げる書類を１部提出すること。

- ① 技術提案書「プロポーザル送付書」（様式２－１）
- ② 技術提案書「本編」（様式２－２）

- 1) 原則として、5 ページ以内とする。
- 2) 使用言語は日本語、通貨は日本国通貨、単位は計量法に定めるものとし、原則としてフォントはMS 明朝体 10.5 ポイント以上とする。
- 3) 業務の実施方針に関する次の内容を簡潔に記載すること。
 - ・ 共同企業体の特徴
 - ・ 特に重視する業務上の配慮事項
- ③ 特定テーマについて（様式 2-3-1～様式 2-3-3）
次に示す 3 項目の特定テーマの内容について記載すること。
原則として、テーマ毎に 2 ページ以内とすること。
 - [1] 特定テーマ 1（様式 2-3-1）
持続的な除排雪体制を構築するための方策
除排雪の質を維持するためのハード面およびソフト面の対策についての体制や方策を具体的に記載すること。
 - [2] 特定テーマ 2（様式 2-3-2）
緊急事態に備えた協力体制および円滑な排雪を実施するための方策
豪雪等緊急事態における J V 内外の協力体制および円滑な排雪を実施するために取ることのできる方策を具体的に記載すること。
 - [3] 特定テーマ 3（様式 2-3-3）
道路欠損部補修や部分的な除排雪を実施するための体制
道路欠損部補修や部分的な除排雪を実施するための体制について具体的に記載すること。
- ④ 業務参考見積書（様式 2-4）
業務参考見積書（様式 2-4）には排雪業務および道路欠損部簡易補修業務に関する経費を計上しないこと。なお、発注者より見積内訳を求められた場合、業務参考見積書（様式 2-4）に記載した金額の積算根拠が判る任意の積算書を後日提出すること。

（2）既存資料の閲覧

技術提案書の作成にあたり、次の資料を閲覧することができる。

- ① 閲覧場所：大仙市建設部道路河川課および西仙北・協和建設水道事務所ならびに中仙・太田建設水道事務所。
- ② 閲覧期間：技術提案書の提出期限の前日まで。
（土曜日、日曜日、祝日は除く。閲覧時間は午前 9 時から午後 5 時まで。）
- ③ 閲覧方法：基本的に閲覧場所での閲覧のみとする。
- ④ 閲覧資料：除排雪対象区間図、除雪機械台帳（市貸与除雪機械）、設計機械担当除雪区間図。
- ⑤ その他：技術提案書の提出要請書送付後、機械積算参考内訳等の詳細資料を提供する。

（3）技術提案書についての質問および回答方法

- ① 質問の方法：質疑事項がある場合は、質問書（様式 3-1）に質問事項および内容を明記し、電子メールにより提出すること。
- ② 質問の受付先：「3. 担当部局」に同じ。

- ③ 質問受付期間：令和6年8月23日（金）から令和6年9月4日（水）まで。
（土曜日、日曜日および祝日は除く。最終日は午後5時までとする。）
- ④ 回答の方法：令和6年9月5日（木）に技術提案書の提出要請者全員に対して電子メールで回答する。

（4）技術提案書の提出

- ① 提出期限：令和6年9月6日（金）午後5時まで。
- ② 提出場所：「3. 担当部局」に同じ。
- ③ 提出方法：「5. （3）③」に同じ。

8. ヒアリング

（1）ヒアリングの実施方法

プロポーザル選定委員会においてヒアリングが必要と判断した場合は、次のとおり実施する。

① 書面によるヒアリング

技術提案書の提出後、技術提案者へヒアリング質問書および回答書（様式4-1）を電子メールで通知する。技術提案者は、別途定める期日までに回答を作成し、電子メールで提出すること。

② 対面によるヒアリング

①の書面によるヒアリング後に更に詳細の聞き取りが必要と判断した場合には、下記日程において、対面によるヒアリングを実施する場合がある。対面によるヒアリングを実施する場合には、配置予定の管理技術者および担当技術者並びにJV事務担当者等の合計3名以内の出席とする。

対面ヒアリング実施予定日：令和6年9月26日（木）

9. 契約候補者の特定

（1）契約候補者を特定するための評価基準

契約候補者を特定するための審査は、別紙「大仙市除排雪業務委託に係る公募型プロポーザル評価基準」によるものとする。

（2）特定結果の通知

選定委員会の審査に基づき、特定者および次点者を決定し、特定した契約候補者に対しては、電子メールにより通知を行う。また、特定されなかった者（次点者を含む）には理由を付けて通知する。（令和6年10月2日（水）を予定）

（3）非特定理由の説明について

（2）のうち、特定されなかった者は、大仙市プロポーザル方式等実施要綱の規定に従い非特定理由について説明を求めることができる。

- ① 提出様式：A4縦型自由記載。
- ② 提出場所：「3. 担当部局」に同じ。
- ③ 提出方法：「5. （3）③」に同じ。

10. 契約の締結方法

- （1）本プロポーザルは、本業務の受注者を特定することを目的としており、受注者が特定され次第、業務内容について特定者と協議の上、必要な仕様および契約条項を作成し、

契約を締結するものとする。なお、特定者との協議が整わない場合は、次順位者との協議を行うことができる。

(2) 契約金額は、業務参考見積書（様式2-4）の総価とせず、市の積算単価とする。

(3) 契約時における契約保証金は、免除とする。

(4) 排雪業務に関する経費は、実績による精算とする。

1.1. 業務実施上の条件

(1) 本業務の主たる業務を再委託してはならない。

(2) 参加表明書および技術提案書に記載した配置技術者は、病休、死亡、退職等極めて特別な場合を除き、変更することができない。

1.2. 参加表明書または技術提案書の無効

参加表明書または技術提案書が、次の条件の一つ以上に該当する場合は無効となる場合がある。

(1) 提出方法、提出先、提出期限に適合しないもの。

(2) 様式および本要領に示された条件に適合しないもの。

(3) 記載すべき事項の全部または一部が記載されていないもの。

(4) 記載すべき事項以外の内容が記載されているもの。

(5) 虚偽の内容が記載されているもの。

(6) 本要領に定められた以外の手法により、審査委員または関係者にプロポーザルに対する援助を直接的、間接的に求めた場合。

1.3. その他の事項

(1) 参加表明書および技術提案書の作成および提出に係る費用は、提出者の負担とする。

(2) 手続きにおいて使用する言語は日本語、通貨は円とする。

(3) 提出された参加表明書および技術提案書は、技術提案書の提出者の選定および技術提案書の特定以外に提出者に無断で使用しないものとする。

(4) プロポーザルの結果、特定された者を公表する。また、提出された技術提案書は公正性、透明性、客観性を期すため公表することがある。

(5) 提出期限以降における参加表明書および技術提案書の差し替え、および再提出は認めない。

(6) その他

① 提出期限までに参加表明書が到着しなかった場合は、参加表明者になることはできない。

② 参加表明書および技術提案書に虚偽の記載をした者に対して、指名停止措置を行うことがある。

③ 提出された書類は、選定および特定を行う作業に必要な範囲又は返却する場合において、複製を作成することがある。

④ 提出された参加表明書および特定した技術提案書は返却しない。

⑤ 技術提案書の作成のために発注者より受領した資料は、発注者の了解なく無断で公表および使用することはできない。

別表

No.	業務名	地域	工区	委託箇所	除雪 路線数 (路線)	機械除雪 業務延長 (km)		排雪 業務 (式)	道路欠損部簡易 補修業務延長 (km)		業務経費 上限額 (円)
						車道	歩道		車道	歩道	
1	大曲地域A工区除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	大曲地域	A工区	四ツ屋地区を主とした区域	241	94.932	5.756	1	94.932	5.756	91,961,100
2	大曲地域B工区除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	大曲地域	B工区	大曲地区を主とした区域	383	71.61	0.213	1	71.61	0.213	66,267,960
3	大曲地域C工区除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	大曲地域	C工区	西根内小友～藤木角間川を主とした区域	334	148.314	6.528	1	148.314	6.528	105,351,180
4	神岡地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	神岡地域	－	神岡地域全域	314	84.398	4.404	1	84.398	4.404	34,488,630
5	西仙北地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	西仙北地域	－	西仙北地域全域	434	208.924	9.694	1	208.924	9.694	71,907,770
6	中仙地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	中仙地域	－	中仙地域全域	627	329.391	13.139	1	329.391	13.139	115,868,830
7	協和地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	協和地域	－	協和地域全域	488	192.623	3.495	1	192.623	3.495	63,053,650
8	南外地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	南外地域	－	南外地域全域	222	123.17	1.686	1	123.17	1.686	39,567,770
9	仙北地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	仙北地域	－	仙北地域全域	443	170.276	5.623	1	170.276	5.623	65,144,750
10	太田地域除排雪および道路欠損部簡易補修業務委託（地域維持型 J V）	太田地域	－	太田地域全域	510	204.425	9.695	1	204.425	9.695	80,087,590

※業務経費上限額に排雪業務および道路欠損部簡易補修業務に関する経費は含まないものとする。
 ※道路欠損部簡易補修業務は土木一式および舗装補修とし、舗装補修は、常温合材によるものとする。